

編集後記

2020年4月に当研究室に着任して、私が心に期していたことのひとつは、この『東京大学西洋古典学研究室紀要』を毎年刊行することでした。原稿がなかなか集まらない年もありましたが、今年度は昨年度に続いてこうしてお届けすることができました。前号の編集後記に、2023年秋に亡くなった片山英男先生の追悼号を刊行したいと書きましたが、それをどうにか実現できてほっとしています。

今号は、矢野愛美さんと本田元さんの力作が掲載されています。また、ピサ大学のルチーア・ガッリ氏とアレッサンドロ・ルッソ氏からも、玉稿をいただきました。これは、昨年9月9日に当研究室で行ったご講演に基づいています。なお、お二人の講演は布施学術基金の助成を受けています。あらためて、文学部ならびに布施学術基金運営員会に御礼申し上げます。

また、ここにお名前を挙げることはできませんが、論文の査読を快くお引き受けてくださった先生方に厚く御礼申し上げます。前号に引き続き、松浦高志さんの存在はまことに心強く、煩瑣この上ない編集作業にも実に丁寧かつ粘り強く対処し、印刷所とのやりとりもてきぱきと進めてくださいました。お陰で、本号も充実した、そして美しい仕上がりとなりました。松浦さん、本当にありがとうございます。

最後になりましたが、今回残念ながら原稿が不掲載になった方々も、これにめげないでください。査読の先生方からの貴重なアドバイスをもとに、改稿を試みてください。たとい不掲載となったとしても、他人に読まれることを意識しながら原稿を一から作り上げることは、それだけでもう十分意味のある試みです。けっして、時間の無駄にはなりません。2025年9月末を締切として、次号の原稿を募集いたします。皆様、奮ってご投稿ください。

西洋古典学研究室 日向太郎

Tokyo Classical Studies

Volume 14 (2024)

Department of Greek and Latin Classics,
Graduate School of Humanities and Sociology,
The University of Tokyo

Contents

Jason and the Foreign Rulers	I
YANO Manami	
The Arabic Translation of Euclid's <i>Phaenomena</i>	31
HONDA Hajime	
Special Contributions	
Between Plato and Cicero: a hypothesis on Ennius' <i>Epicharmus</i>	75
Alessandro Russo	
Three versions of a murder (Metellus Scipio, Cicero, Asconius)	91
Lucia GALLI	
Abstracts	113

本誌について

- (1) 本誌の和文名称を「東京大学西洋古典学研究室紀要」、英文名称を「Tokyo Classical Studies」とする。
- (2) 本誌の編集責任者は、同研究室主任とする。
- (3) 本誌の事務局は同研究室におき、助教または教務補佐員が事務を担当する。
- (4) 投稿資格を有する者は、研究室教員（名誉教授、非常勤講師、元非常勤講師、および教務補佐員等を含む）および学生（学部学生および大学院生、研究生などを含む）の他、編集責任者の認める者とする。
- (5) 掲載論文等は、原則として、和文または（英文をはじめとする）欧文とする。
- (6) 論文に関して、原則として、複数の匿名査読者による査読制を採用する。
- (7) 掲載論文は、原則として、「UTokyo Repository」(<https://repository.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/>) において電子的に公開するものとする。

とうきようだいがくせいようこてんがくけんきゅうしつきよう

東京大学西洋古典学研究室紀要 第 14 号 (2024)

2025 年（令和 7 年）2 月 28 日発行

編集責任者 日向 太郎（東京大学西洋古典学研究室）

編集・発行 東京大学大学院人文社会系研究科

西洋古典学研究室

〒113-0033 東京都文京区本郷 7 丁目 3 番 1 号

TEL: 03-5841-3855

MAIL: l_glc@l.u-tokyo.ac.jp
